

「2017年を振り返って」
子会社で貸切バス事業の岐阜バス（観光（岐南町）と、路線バス事業の岐阜バスコミュニティ（各務原市）を昨年4月1日に本体に吸収合併しました。これにより積極的な事業展開が可能となりました。特に人手不足の中で、運転士を柔軟に配置でき、合併のメリットを生かせました。岐阜市市民公450乗車プロジェクトに協賛して販売した企画乗車バスは売れ行きが好況でした。一足元のバスの利用状況は、少子化などで取り巻く事業環境が厳



『バスの魅力』の成果が表れています。また、停留所の標識を分かりやすく改良したり、スマートフォンでバスの運行報を提供したり、「分かりやすく」を重視した取り組みも寄与しています。

1月から当社の高級観光バス「エンラウ」と長良川鉄道「観光列車」ならを組合わせたいとの要望を、近畿地方の観光客にアピールする。また、路線バスで運送会

の荷物・乗客を同時に運ぶ「貨客混在」のバス事業の収益力を高めるべく、運送会社の配属員不足を支援とともに、バス事業の収益力を高めていこうとします。

特に力ずきの取り組みは、高齢化チャンスと捉え、高齢輸送心し利用できるバスの環境整備を進し、「日本一やさしいバス」これを以て取組みを加速します。これにより、マイカーから公共交通への乗り換えを通じていきたと考えられています。



「ハッシモ」の生誕地と名の複数年の
 全国のJJAに先駆け、地域の銘柄米
 は何ですか。



自己改革で地

農業資材の供給では、岐阜西農物流センターを開設し、配送業務の時間を軽減した。これにより生産コストを削減し、相談業務に力を入れた。農業に携わりたい人々と手がほしい

農業者を結びつけるマッチングシステムを開発し、簡単に接点を持つる場を設けました。この他にも、農業を身近な存在として感じてもらい地域全体で農業を守っていくような環境づくりと地域活力の創造を目指しました。

― 地域貢献にも積極的です。14人の選手全員が言及A職員の女性バレーボール部「Jききおレナ」

なごの交流や食育活動を行っている。食と農をバレーを通じて感じられたいと思っています。

一年の抱負は、
中期経営計画の成果を組員、地域の皆さんにしっかり実感してもらいたいと思っています。また六つの目標が合併し、当りAが誕生して10周年節目にもなります。必要とされる節目にも、なかつたら困難の一と意識する組織となるのが最終目標です。この目ざしを進めていきます。



一九三七年は、たゞ大学の学生た
 一番の出来事として、大学の各学部
 の全教員が所属する「教育研究院」が
 ４月にスタートしました。全学部につ
 ながりができ、教養や研究などより
 弾力的な対応が可能になりました。
 学び直しの場を提議しています。

現職教員が勉強直す、教職大学院
 の力キニユムを実施しています。教
 師として経験を積んた、新しく学ぶ
 べきことと経たなくありません。時代
 の流れに取り残されなために設置しま
 した。社会人の学び直し教育にも注力



新旧の構造物を見比べられます。これからはインテナスが大切な代となっていく。このような施設は重要にならずとも悪くありません。留學生への支援が手厚いです。

直しの場を提供

ンターシップを始めました。

一立ち上げ予定の施設についてはIoTと金型設計を合わせた効率良い生産システムを生み出す、スマト金型研究センターの設置を予定し

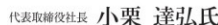
用金庫と合同で就職。オーラムを实しました。他にも、文部科学省の支援を受けて、東海ブロックで留学生の

県や大阪府に力を入れています。岐阜県と46銀行、大垣共立銀行、岐阜信用金庫と合同で就職。オーラムを实しました。他にも、文部科学省の支援を受けて、東海ブロックで留学生の

「金型と成形機
ンタネットに接続し、機械が自
整でその技術を開発しよう」
製品は岐阜県で の展望は。
昨年6月に岐阜県中央畜産保健
所が当該構内に移転新築され、
更新にも機能強化がなされた。食
「岐阜県食品科学研究所」も構内
設された。10月下旬に起工式が
行われ、来年4月に開所する。食
家畜といった分野にも注力し、人々
定着を図ります。



上場後初めての1997年は、造船業異端の「上場企業」というアドバンテージを生かし、全国の有効需要が集中する大型案件の相次ぎと依頼が増加してまいりた。大型工事でなくエクシブ河海原庫営と、大阪で大手電機メーカーの跡地の商業流通施設の緑化を施工しました。しかしながら、東京オリンピックに関連した建設ラッシュに伴い、特に関東地区での職人・技術力が深刻な問題となっています。そのため昨年は、人材育成・研修に最大の力を



「職人型現場力」
ランドスケープ事業部は、官公庁や民間から発注される公園、道路、街路、商業施設、リゾートホテル、学校、病院などの造園緑化工事の提案から施工、メンテナンスまで一貫して行っています。

— 事業内容を教えてください。 —
「職人型現場力」を関東地区トップとした4年連続の「このエリアで最も信頼される企業」に選ばれる。攻めの重要な鍵にしたいと思っています。

は、カボットなどの既製品を組み
合わせた定型的なものではなく、自然
を織り込んだ緑豊かな個性あふれる
クスティアを提唱し、美しい街並み
が関東攻略の鍵

成による資産価値の向上をコンセプト
に、設計から施工まで行っています
大手住宅メーカーからいたたく物
と、「パイオニアブランドを独自に
ち上げ、東京、東海、大阪、四国

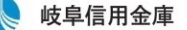
「今後、特に力を注がれる点は、創業以来30年間受けて難がたつてきた『匠の魂』の掘り出し、エクシブ鳥島邸の工のおれに伊藤リゾート・ト倉長を訪ね、『あのようなら、い込んだ庭園は岐阜道にしかできない』と要めていたとき、最も強みである品質と工期を厳守する『單一現場力』は、今後大切たいと思っています。」



設備投資など前同様に資金需要が多くなりました。製造業では増産投資があったはず、深刻化は人手不足に対応した省力化の投資もありました。だが、資金需要は高いものの、県内では、堅実に手持ち資金が豊富な企業が多く、融資に結び付けられるコンサル機能をもつような場面がみられました。

— 18年 の抱負 —

日銀のマイナス金利政策で金利低下が続き、貸出収差を中心に収益面は大変厳しい状況です。この状況を乗り



融はもうろん、金融以外でも相談に応じなければならぬ。今後は営業の質の向上を図っていきます。

— 地方創生の取り組みは、商工会議所や商工会と地方創生の推進はどちらを優先するのでしょうか。 —

金機機関しては事業を行っているさまざまな金融機関と連携を深めています。取引先ごとに二、三の経路問題が異なる、各社に沿ったコンサルティング機能も強化することに注力します。金

コンサル機能

は、取り組み内容を深化していくことが重要だと考えています。また、長良川流域観光推進協議会を共同で、**強化にも注力**する。川流域の地域資源を活用した観光事業に拡大に関するセミナーを開催しました。参加した4事業が魅力的な体験型観光商品を開発し、「長良川温泉祭」や「長良川おんせん」でデスト

野の広がりを確認しました。
一注力している分野は、事業承継に伴う企業の合併・買収（M&A）は、事例が増えています。地方の金融士もマッチングし、地経済に貢献する事業承継が理想です。勤労改革も重要なテーマです。また、取引先のワークライフバラン（仕事と生活の両立）の推進や労働性向上などを支援しようと、岐局局と勤労改革に係る包括連携を締結しました。



無断複製・転載を禁じます